

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	呼吸器病棟における転倒転落に対する取り組み
研究機関名	金沢医科大学病院
研究責任者	金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 渡邊 達矢
研究期間	倫理審査委員会承認日 ~ 2021年8月31日
対象者	2016年度から2018年度、2019年10月から2020年9月までの期間に7階東病棟に入院し、転倒転落した患者。
当該研究の意義・目的	呼吸器病棟（7階東病棟）の転倒転落件数は2016年度15件、2017年度18件、2018年度21件と増加しています。7階東病棟における転倒転落事故の実態や原因を分析し、対策について検討することで転倒転落事故により生じる問題（治療成績の悪化、ADL低下、活動制限、在院日数の長期化、患者満足度低下、職員の負担増大、医療コスト増大など）を未然に防止することを目的としました。 H240の「呼吸器病棟における転倒転落の原因分析とその対策について」では、年齢 74.2 ± 10.5 歳で肺癌が25件と最も多い結果となりました。また、睡眠薬使用22件、せん妄7件、リハビリ介入34件でした。酸素使用件数は17件でしたが、酸素関連要因の転倒転落は0件でした。転倒転落の原因の上位は下肢の脱力とベッド周囲の環境不良でした。それに対して、新たな6つの対策を導入し1年間行いました。その対策の効果について検証します。
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究で、カルテから抽出するデータ項目は年齢、性別、診断名、診療科、BMI、Alb値、Hb値、リハビリ介入している場合にはサルコペニアの有無、バランス能力（SIDE）、転倒の件数、転落の件数、入院後転倒転落までの日数、転倒転落した時間帯・発生場所、睡眠薬使用の有無、せん妄の有無、夜間頻尿の有無、リハビリ介入の有無、履物の種類、転倒転落する直前の転倒転落アセスメントスコアシートの点数（看護師が毎週評価しているもの）、酸素使用の有無、転倒転落のインシデントレポートレベル分類とし、原因を追及します。その結果や問題点に対して新たな対策方法まで検討します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。2016年度から2018年度、2019年10月から2020年9月までの期間に7階東病棟で入院され、かつ転倒転落された方のカルテデータより得られた上記の情報を本研究のために使用させていただきます。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 リハビリテーションセンター 理学療法士 渡邊 達矢 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-3511 内線（5291）

作成日：2021年6月6日